

あなたを想う、プロになる

リニエ

おたより

2025

5月

MAY

PhotoTime

作品制作 Hさま・Sさま・Kさま・Mさま

ご利用者とともに

待ち遠しい リハビリの時間

株式会社リニエL 広報推進課 米澤

事業所一覧

【訪問看護】

リニエ訪問看護ステーション四ツ橋
リニエ訪問看護ステーション四ツ橋サテライト平野
リニエ訪問看護ステーション港
リニエ訪問看護ステーション住之江
リニエ訪問看護ステーション住之江サテライト南港
リニエ訪問看護ステーション鶴見
リニエ訪問看護ステーション鶴見サテライト天満
リニエ訪問看護ステーション西淀川
リニエ訪問看護ステーション東淀川
リニエ訪問看護ステーション岸和田
リニエ訪問看護ステーション泉佐野
リニエ訪問看護ステーション枚方

リニエ訪問看護ステーション枚方サテライト大東

リニエ訪問看護ステーション二条

リニエ訪問看護ステーション草津

【デイサービス】

PDリハビリ特化型リニエデイサービス岸和田

PDリハビリ特化型リニエデイサービス泉佐野

生活機能ステップアップ型リニエデイサービス藍住

【児童発達支援・放課後等デイサービス】

リニエプラッツ本町

リニエプラッツ阿波座

リニエプラッツ枚方

リニエプラッツくずは

リニエプラッツ草津

【栄養ケア・ステーション】

リニエ認定栄養ケア・ステーション岸和田

【相談支援】

リニエ相談支援本町

【訪問介護】

リニエ訪問介護ステーション藍住

【サービス付き高齢者向け住宅】

リニエハイム藍住

【小児向け自費教育】

リニエシュレ江坂

リニエシュレ世田谷



待ち遠しいリハビリの時間

株式会社リニエL 広報推進課 米澤
よねざわ



◀二人で作るハートマーク。
そんな小さな関わりも、笑
いの絶えないリハビリにつ
ながっています。

人工透析と宝塚

「普段はテレビの守りして
る」と話すおちやめなO様。
この日は、緊張すると言いな
がらも和やかに取材を受け
入れてくださいました。

O様は、40代の頃から人工
透析が必要になり、今は週3
回の治療に通われています。
全身の血液を入れ換えるの
で、1回の治療に4時間以上
を要します。それ以外の時間
は、入居施設の部屋で過ごす
ことがほとんど。加齢や透析

治療に伴う体力の低下に
よって歩くのが難しくなり、
一年ほど前からは、座ってい
ることもしんどく感じるよ
うになったそうです。

そんなO様には、一番の趣
味があります。宝塚歌劇の観
劇です。通うのが難しくなる
までは30年以上も、毎週末に
一日2回の公演に足を運ぶ
生活を毎月続けていらっ
しゃいました。

丁寧な関わりが 心を弾ませる

思い出話をしながら、長年
担当する理学療法士の河東
とともに、歩行器での歩行練
習や手すりを持って立ち座
りの練習に励みます。通院以
外は部屋で過ごすO様が少
しでも四季を感じられるよ
うに、窓から外を眺めて練習
したり、手のリハビリをしな
がら一緒にハートマークを
作ってみたいと、O様を思
い、丁寧に向き合う河東PT

の姿が伝わってきました。素
敵だなと心がほっこりする
その二つひとつの関わりが、O
様の心を弾ませ、リハビリへ
の意欲につながっているの
ではないかと感じられました。

軽快な掛け合いが 生み出す空気

リハビリの合間にも、宝塚
歌劇や相撲、阪神タイガー
ス、ポテトチップスなど好き
なものの話題は尽きず、絶妙
な冗談を言い合う二人の軽
快な掛け合いが、じんわりと
あたたかな空間を作り出し
ていました。まるで穏やかな
漫才を見ているかのようで、
こちらにも思わずニヤツとし
てしまうほど。互いにこの時間
を心から楽しんでいるのだ
ろうなと感じる雰囲気、訪
問の場で一対二で関わる意義
を改めて実感しました。人と
なりを尊重し、互いの気持ち
が通うことで、本当に安心で
きる生活を送っていただく

お手伝いができるのではない
かと思います。

再び灯った 宝塚への思い

歩くことが難しくなっ
てからは、O様自身、観劇に行
くことを諦めていたそう
です。しかし、これまでの河東
PTの熱意に後押しされて、
ともにリハビリに励んでこ
られ、「死ぬまでにもう一度行
きたい、河東さんを宝塚に連
れて行きたい」という、再び灯
った思いを教えてくださいまし
た。いつも良い出会いに恵ま
れてきたと感謝を言葉にさ
れるO様。それは、O様の思
いやりの深さが紡いだ、人と
のご縁なのだと感じます。

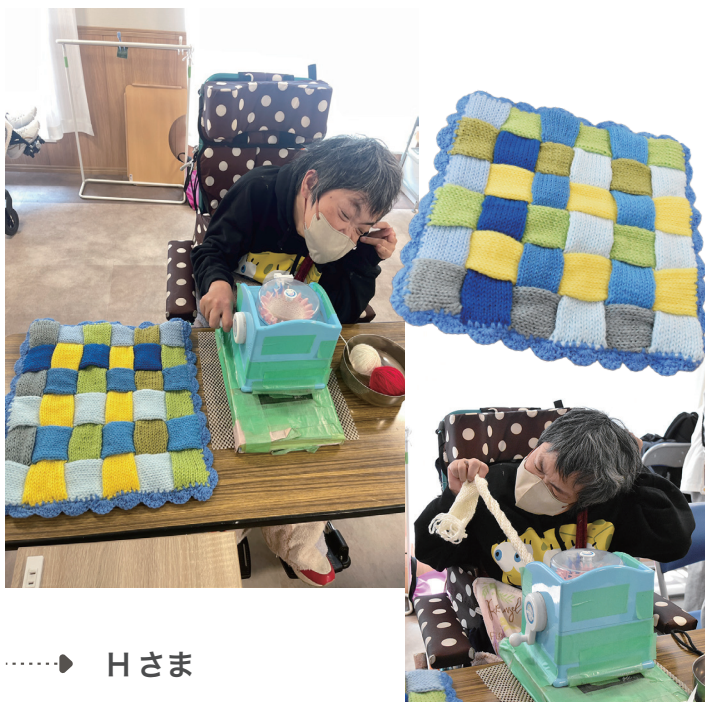
「迷惑かけず、約束守って、
時々ポテチ」。O様の人柄あ
ふれるチャームキングな名言
に、また笑顔がこぼれました。

(広報推進課 米澤)



PhotoTime
フォトタイム

作品制作



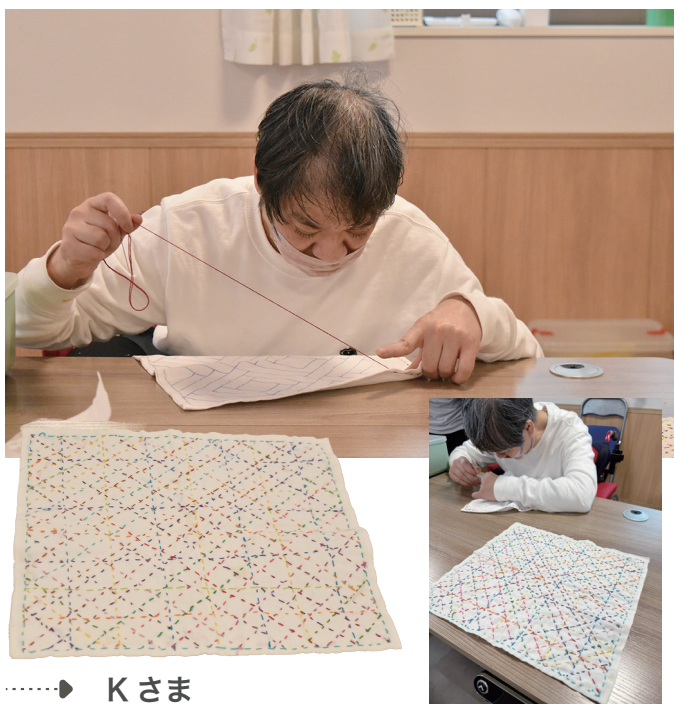
.....▶ Hさま



.....▶ Sさま

同じ作業所に通われているご利用者の皆さまが、それぞれの得意に合わせて編み物や刺し子をしています。手足が動かしづらくても時間をかけて工夫を重ね、完成させる喜びを感じながら取り組んでいらっしゃる姿には、「人の可能性は無限大だ」と実感させられます。皆さまの手が生み出す作品には、努力と温もりが詰まっていて、日々新たな挑戦をすることの素晴らしさを感じました。

理学療法士 河東
かとう



.....▶ Kさま



.....▶ Mさま

訪問の現場から、一冊の書籍が生まれました！

株式会社リニエR／株式会社リニエArts 中島卓也（理学療法士）

このたび、私が三輪書店にて企画・編集を担当した書籍『あの子のちがいは価値になる』をご紹介します。本書は、リニエ訪問看護ステーション岸和田の理学療法士・岩淵が在宅でのリハビリを行ったお子さまと、ご家族の物語です。タイトルの通り、「できない」を価値に変えていくという前向きな家族のストーリーが描かれています。

著者であるお父さまとの企画編集ミーティングを重ねる中で、お父さまが自身の得意分野を活かして、息子さまの「できない」を、価値へと転換していく考え方に触れました。それはまさにリハビリテーションの本質であると感じました。

私自身も、臨床現場で障が

いを抱える方々やご家族と向き合う機会が多くあります。できないことに目を向けるのではなく、それをどのようにに価値に変えていくかを模索する思考過程には深く感銘を受けました。

そうした過程を、できるだけ分かりやすく伝えられるように構成を工夫しました。ぜひ、多くの方に本書を手にと取っていただければ幸いです。

（中島）

— Information —

著者プロフィール



書籍の詳細



モノづくり父さん×明るく前向きな家族たちによる 障害やちがいのある子の「できた」を広げる発明&活用ストーリー



『あの子のちがいは価値になる』

定価：1,980円(本体1,800円+税)
商品コード：ISBN978-4-89590-834-4
四六判 / 182頁 / 2025年

【著】廣瀬元紀

エンジニアとして多彩なご経験を持つお父さまが、その視点や技術を活かし、重度障がいのある息子さまへのおもちゃやツールを多数製作されてきました。そのご活躍はメディアでも取り上げられています。

子どもの好奇心を掻き立て、「やりたい!」という意思を楽しく引き出すことや、できないことを嘆くのではなく、できることを探してその喜びや可能性を広げることを大切にされています。お父さまが取り組むのは、「今」困っていることを解決するためのモノづくり。誰かの困りごとが、同じような支援を必要とする「他の誰か」にとっても価値になる、そんな広がりがあります。

（広報推進課 米澤）



・・・リニエおたよりへのご意見、ご感想はこちら・・・

リニエおたよりは皆さまとともに作る広報紙を目指しています。ご意見、ご感想などございましたら郵送・メールFAX・スタッフへのご伝言など、様々な方法でお待ちしております。

【リニエグループ広報】 メールアドレス：pr@linie-group.jp FAX：06-6684-8906

